

問題別調査結果 [数学]
江戸川区立小岩第四中学校一生徒

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

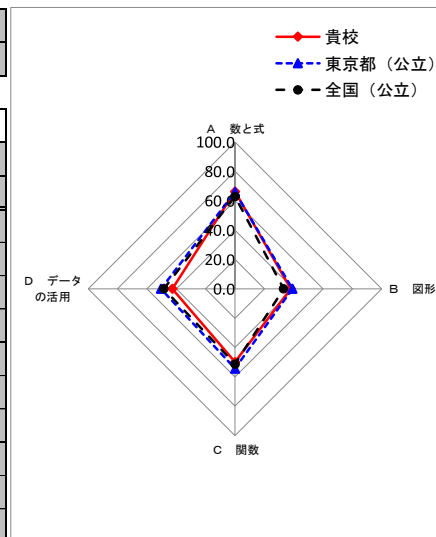
※ただし、4月18日に調査を実施していない学校については、4月19日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

集計結果

対象生徒数	江戸川区立小岩第四中学校	東京都（公立）	全国（公立）
	107	71,470	893,114

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）
全体			52	54	51.0
学習指導要領の領域	A 数と式	5	66.4	66.0	63.0
	B 図形	3	38.0	39.2	33.2
	C 関数	4	49.8	54.3	51.2
	D データの活用	3	42.7	50.4	48.5
評価の観点	知識・技能	10	56.2	58.7	55.7
	思考・判断・表現	5	42.2	45.8	41.6
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	4	51.2	48.5	45.3
	短答式	6	59.5	65.5	62.6
	記述式	5	42.2	45.8	41.6

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



結果分析・課題

正答率について学習指導要領の領域別に見ると、A 数と式領域では東京都平均と全国平均を、B 図形領域では全国平均をそれぞれ上回っている。その一方で、C 関数領域およびD データの活用領域では東京都平均と全国平均をともに下回っている。よって、関数やデータの活用領域の内容理解が課題である。

正答率について評価の観点別に見ると、知識・技能は東京都平均と全国平均を、思考・判断・表現では全国平均をそれぞれ上回っている。ただ、思考・判断・表現は東京都平均を下回っているため、より一層の育成が求められる。

正答率について問題形式別に見ると、選択式の問題では東京都平均と全国平均を、記述式の問題では全国平均をそれぞれ上回っている。その一方で、短答式の問題では東京都平均と全国平均をともに下回っている。このことから、選択肢が与えられていればそれを基に考えることはできているが、答えを自分で考え記入する問題に苦手意識をもっている生徒が多くいると考えられる。

授業改善のポイント

プリントや問題集、ミライシードなどのデジタル教材等を活用し、十分な問題演習量を確保する。

特に本校の課題である関数領域、データの活用領域では問題演習が不足しやすい傾向にあるので、授業の終わりの時間、単元の終わりに問題演習の時間を確保し、十分な問題演習をさせるようにする。

また、調査の結果から本校では短答式の答えを自分で考え記入する問題に苦手意識をもっているように考えられるので、演習を意識的に行うようにする。

また、生徒が学習内容を忘れないように、単元の終わりや学年の終わりに復習を行うようにする。